
闇と男

たけっちー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

闇と男

【Nコード】

N6511A

【作者名】

たけつちー

【あらすじ】

孤独な男、田代はネガティブな性格の持ち主であるそれなのに、田代が様々なことに関わってしまうちょっと変な物語

第一話、変な人

男

「あーいい天気だ。」

ある一人の男がつぶやいた。その男は田代という名字で、緑川高校の三年生である。今は夏休みで、昼間から子供たちや若妻がたくさんいる公園で、ただ独りベンチに座って空を眺めている。彼には友達が居ないのだろうか・・・。

田代

「・・・。」

暑すぎず、程よく暖かい陽気に誘われ、田代はベンチに横になり眠ってしまった。

・・・

田代（寝すぎた）

田代が目を覚ました頃には、空はもう夕焼け色に染まり、公園にもほとんど人が居なくなっていた。

田代

「・・・・・・・・。」

田代は寝起きでぼーっとしていた。ちょうどその頃、田代と同じくらいの年頃の女の娘が、公園の前で何かを探している様子である。その女の娘は今にも泣きだしそうな顔をしている。田代

「んっしょっと。」

田代はベンチから立ち上がり家に帰るために歩き始めた。

ドンッ

田代が下を向いてトボトボ歩いていたので、探しモノをしている女の娘にぶつかってしまった。

女の娘

「あっ、すみません。」

女の娘は小さな声でつぶやいた。

田代

「どーしたの？探しモノ？」

田代は優しい口調で言った。

女の娘

「えっ、ハイ。」

田代

「何探してんの？サイフ？サイフだったら金一割くれ。」

田代はあたまを掻きながら言った。

女の娘

「えっと、サイフじゃないよ。下敷き落としちゃって。．．．その下敷きには、友達からの寄せ書きがいっぱい書かれてるの」

その下敷きは女の娘がここに引越すときに高校の友達に寄せ書きを書いてもらった、女の娘にとってとても大切なものである。

田代

「探そっか？オレも」

女の娘

「でも．．．いいの？」

田代

「べーつに。どーせヒマだし。．．でも九時までには帰ってえーな。渡鬼（渡る世間は鬼ばかり）みたいし。」

田代は時計を見つめながら言った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6511a/>

闇と男

2011年1月16日07時00分発行